



本年度キャリアカフェ実施報告

科学技術振興調整費「再チャレンジ！女性研究者支援神戸スタイル」のメンターラボシステムでは、六甲台キャンパスでキャリアカフェを4回開催しました。女性研究者のキャリア形成とワークライフバランスをテーマに、多彩なゲストとメンター、学内外の女性研究者、大学院生、学部生が、お茶を飲みながら自由に語り合いました。

第1回「理系のあなたの素敵な生き方」10/12(金)ゲスト:宇野賀津子さん
(財)ルイ・パストゥール医学研究センターインターフェロン・生態防御研究室室長
第一線の研究者として活躍する宇野さんから、「家事は60点主義で」「若いうちから積極的に学会へ参加する」「今の自分に出来る役割を果たす」など、仕事と家庭、両方をあきらめないためのヒントが詰まったトークが展開されました。



第2回「求めよ、さらば…知と愛を基本に」11/22(金)ゲスト:坂東昌子さん 愛知大学教授 日本物理学会キャリアセンター長
キーワードは「女のネットワーク」。京都大学助手時代の保育所作り、女性研究者の地位向上のための取り組みなど、仲間とのネットワークのおかげで、さまざまなことを乗り越え成功させてきたエピソードに加えて、女性科学者であることに対する誇りと自信が伝わってくるトークでした。

第3回「先輩研究者に聞く！女性が活躍する研究環境」12/21(金)
ゲスト:村田明子さん/清水建設(株)、灘本明代さん/(独)情報通信研究機構、津森展子さん/(独)富山工業高等専門学校
※3名とも神戸大学博士課程修了

3つのパターンのワークライフバランスについて聴くことのできたお得な会です。「自分が置かれている状況に腐らない」、「研究者にもプレゼン能力が必要」、「地道に学んだことが仕事へとつながった」など、それぞれの経験に基づいたアドバイスもわかりやすく、身近なロールモデルに出会うことができました。



第4回「深江の海から世界へ、海事科学女性研究者の夢」1/11(金)
ゲスト:北田桃子さん/英国カーディフ大学船員国際研究センター所属
これまでの理系研究者のゲストトークとは一味違い、研究テーマの「女性船員のアイデンティティ」の話を聴きながら、「女性と仕事」について考えました。また、日本を飛び出して活躍している北田さんの姿は、海事科学部の後輩たちをはじめ、これから進路を考える理系の女子学生にとつて励みになりました。



平成20年度のキャリアカフェ開催予定

4/18(金) 17:00~18:20 (アカデミア館和風レストランさくら)を皮切りに、5月、6月(楠キャンパス)、7月(深江キャンパス)、9月、11月、1月、の計7回。キャリアパス、研究力向上、海外での活躍、ワークライフバランス策などがテーマです。

ご存知ですか？女性研究者支援のためのメンター制度

「再チャレンジ！女性研究者支援神戸スタイル」では、2007年10月からメンター制度を実施中です。さまざまなキャリアパスやライフイベントを視野に入れながら研究力を磨きませんか？ 本学名誉教授、現役教授・准教授、本学を卒業・修了し企業や他大学で活躍中の女性研究者、そして学外からも、これまでに開催したキャリアカフェのゲストなどが、あなたのよき相談役になってくれます。どんなことでも気軽に話を聴いてくれる研究経験・人生経験豊かなメンター陣が、あなたをお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

E-mail: pj-kobestyle@port.kobe-u.ac.jp 電話&ファックス:078-803-5471

男女共同参画推進室 活動報告

女性研究者支援モデル育成事業等合同シンポジウムで報告しました

2月13日にお茶の水女子大学で、「女性研究者支援モデル育成プログラム」20機関を中心に、「女子中高生の理系進路選択支援事業」、日本学術振興会特別研究員RPD制度を推進する諸機関が一同に会し、活動報告と情報交換を行いました。女子中高生を理系進路へ誘う取組みがされ、ある大学では、理系学部への女子受験生が増加したそうです。また、女性研究者支援として、柔軟な勤務体制の導入や研究支援員の配置などが報告されました。フロアからは、お茶の水女子大の9-5時勤務体制について質問があり、長く研究室に残ればよい結果が出るというわけではない、仕事と生活の調和を大切にする意識改革が大切だとのお話がありました。更に、構成比率の低い女性への支援は一部の人の問題と捉えられやすいので、全組織的な取組みとして、理解を求めていくなどの意見がありました。

他に以下の学会等で報告しました

- 男女共同参画学協連絡会(名古屋大学)シンポジウム・ポスター発表(10/5)
- 日本分子生物学会ポスター発表(12/11~14)
- 日本物理学会キャリアパス拡大フォーラム、ポスター発表(12/6)



コラム 北海道大学の「ポジティブアクション北大方式」とは?

北海道大学は2020年までに女性研究者比率を20%に！という20%by2020(Triple Twenties計画)を目標に掲げています。具体的方策は以下のようです。従来の定員管理は人件費総額管理(ポイント制)に変更、各部局へ人件費総額がポイントとして与えられています。女性教員を採用した場合には、総長裁量の全学戦略人件費から、採用部局に1/4の人件費が付与されます。そのため、上級職(教授1.0...助教0.604)の女性を採用するほどインセンティブが大きくなります。この制度を利用して、18年度は付与された人件費分で教授1名を含む22人の女性教員が採用されました。今後は、制度を女性教員の昇任人事に適用する検討を行うとのことです。(有賀早苗女性研究者支援室長 談)

育成研究員研究発表会を開催します

お知らせ

育成研究員3名が、OJTによる研究力キャッチアップの経過や、研究内容等を報告します。是非ご参加下さい。

日時：3月19日(水) 13:30~

場所：工学部 創造工学スタジオ2 C3-101



発表会次第

- 13:30 - 13:40 開会挨拶 朴木佳緒留 男女共同参画推進室長
- 13:40 - 13:50 インキュベーションシステムの概要 北村泰寿 インキュベーションコーディネータ
- 13:50 - 14:20 発表・質疑応答 新田紀子 育成研究員
「半導体の粒子線照射効果」
- 14:20 - 14:50 発表・質疑応答 山本英子 育成研究員
「関連語抽出法の提案と適用可能性の検証 —自然言語処理の創造設計への適用をめざして—」
- 14:50 - 15:00 休憩
- 15:00 - 15:30 発表・質疑応答 日下部りえ 育成研究員
「遺伝子で読み解く動物のかたちづくり」
- 15:30 - 15:50 講評 相馬芳枝 特別顧問
- 15:50 - 16:00 閉会挨拶 北村泰寿 インキュベーションコーディネータ

神戸大学 男女共同参画推進室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL 078-803-5017 FAX 078-803-5285

Email: kyodo-sankaku@port.kobe-u.ac.jp

HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html>

男女共同参画推進室のシンボルマークができました

